

マンデー経済

ブルーム再来？社歌健在



社歌を歌うトヨタ自動車東日本的新入社員

企業理念を歌詞に凝縮

東日本（宮城県大衡村）の新入社員219人が入社式で新入社員219人が社歌「願いとともに」を高らかに歌つた。加山雄三さん作曲、仙台市の直木賞作家熊谷達也さん作詞の強

4月1日、トヨタ自動車 力コラボで誕生した歌だ。エレキギターの音色が「若大将」を想起させる爽やかなポップス調。歌詞に「緑の森」「そぞく清流」と大衡村の自然が描かれる。1番にある一節「小さ

な輝き」は生産するコンパクト車の意味合いも重要な

同社は関東自動車工業、セントラル自動車、トヨタ自動車東北が統合して2012年に発足した。「3社の一体感を高めるため社歌を制定した」と小林範子広報部長は説明する。

東日本大震災の翌年とあつて加山さんと熊谷さんは「東北の復興支援になるなら」と快諾した。式典だけでなく毎日、始業時刻に社内でメロディーが流れれる。

各社の社歌

(いずれも1番)

【トヨタ自動車東日本】
緑の森に抱かれて
木漏れ日 そぞく清流に
小さな輝き見つめて
願うのは強く生きること
匠の技が教えてる
大地の香りを礎に
歩め トヨタ自動車東日本

【気仙沼観光タクシー】
愛してる人がいる
愛してる街がある
待っている人がいる
待っている明日がある

ときめきの音
それは明日の鼓動
精一杯で迎えよう
精一杯で届けよう
明日へ明日へ走ろう
精一杯で守ろう
精一杯で生き抜こう
明日へ明日へ走ろう Bexi

【マルス総和】
薬葉山に護られて
総和の英気 此処に在り
質実剛健 極まれば
技の結晶 花開く
「丸く広がり、「丸く」治める
それがマルス 我等のマルス
それがマルス 我等のマルス

土木工事業のマルス総和
(宮城県加美町)は昨年夏
として聴く人を楽しませ
る。

も社歌は作れる。歌に恥じぬよう一丸となつて会社を
发展させたい」。鈴木さん
は強調する。

「世相を映す鏡」SNS発信活発に

約300社の社歌を取り材し、「社歌」(文藝春秋)にまとめたジャーナリスト弓狩匡純(ゆがり・まさみ)さん(66)によると、社歌の歴史は1917年の南満州鉄道(満鉄)にさかのぼるという。近代化により、地縁や血縁を中心だった人のつながりが企業に置き換わった。背景も属性も異なる人々をまとめ上げ、連帶



弓狩匡純さん

感を高めるために社歌は生まれた、と弓狩さんは分析する。

高度成長期には家族的経営と終身雇用が定着し、生産現場は24時間態勢で増収増益に猛進。同僚と肩を組んで社歌を歌う「古き良き」場面が見られた。バブル期には「ダサい」と敬遠されましたが、企業理念をデザイン化するコーポレート・ア

イデンティティー(CI)の波に乗り、社歌は生まれ続けた。気軽に口ずさめるイメージソング風の曲調が増えた。

現在は動画サイトや交流サイト(SNS)の隆盛に伴い、外部に発信する手段として新たなブームを迎えてる。「企業理念を歌詞に凝縮した社歌は、世相を映す鏡」と指摘する弓狩さん。「企業活動のグローバル化に伴い、海外で歌われる日も近い」と予想する。

がつく前に退場する。かじ取りは同社初の外国人社長となる、ステイブン・ヘイズ・ディカス氏に任せた。国内外の流通企業での経験を生かしたりー・ダーシップが期待される。井阪氏は2016年に鈴木敏文名誉顧問との対立を

迷走セブン&ア

買収

社長交代を発表した後、握手する井阪社長(左)とディカス氏



3月には、スーパー事業を束ねる中間持株会社を米投資ファンドのベインキャピタルに売却すると発表した。粗業に別れを告げるとともにトップ交代に至った井阪時代の結果に、経営官房幹部は「失われた9年間だった」と振り返った。

けいざい
東西南北

友好紙から

施設の一部に国産材を使った給油所が、広島市南区宇品御幸に開業した。出光興産(東京)が全国で整備する「木のガソリンスタンド(GS)」で、中国地方では初出店となる。

グリーンセルフサービスステーションで、縦8m、横12.5mの屋根と高さ約5mの柱の一部に、直交集成板(CL T)と呼ばれる強度の高い木製パネルなどを使った。CL Tはコンクリートより断熱性が高い

河北新報オンラインのサイ
関連記事をまとめています。

好評開催

